



最後のむかえ方

今月号は少し暗い話になってしまいます。先日私の知り合いがなくなりました。39歳という若さでした。生前は数か月に一度飲みに行ったり、顔を見ては冗談を言い合う関係でした。その方は肺がんで亡くなりました。毎年定期検診も受けていたのに、3年前の定期検診で「すぐに精密検査をしてください」と言われ、精密検査をしたら肺がんのステージ4だと言われました。同時に余命宣告も受けたそうです…。運命に逆らい、頑張ってた年末まで癌と闘っていたのですが、年明けになくなってしまいました。今月はその方が言っていた事を皆さんにもお伝えしますね。まずは、ちゃんと定期検診を受けてほしいって事。しかもできれば半年に一度位のペースで自分の体と向き合ってもらいたいって思っていました。1年に一度だと、自分みたくになっちゃうから…なんて冗談交じりに言っていまし

た。あと「私は幸せ者だ。ちゃんと人生の終わりを覚悟ができたので、周りの人に感謝やお礼を言って旅立つことが出来る。事故や突発的な病気で亡くなってしまった人は周りに感謝する事も出来ない。だから常に自分の周りの人に感謝しておいた方がいいよ」って言っていました。また、「こんなにも素敵な人たちにたくさん出会えて本当にうれしい」と常に言っていました。会うたびにそんな話を聞くと、本当に反省させられます。自分はちゃんと感謝できているのか。周りの人に喜んでもらっているだろうか…。そんな事を考えさせられます。最後は家族だけで静かに看取られたので後から聞いた話ですが、この人は自分の命があと僅かだった時まで、看護師さんや家族の事を気遣って「ありがとうね」とか「ごめんね」って言っていたそうです。肺がんは苦しい…とよく聞きます。



自分が苦しくてつらい時に、そんな風に周りに感謝できるのだろうか…自分に置き換えて想像した時に、改めてその方の強さと優しさを感じました。亡くなる直前に友人にあてたビデオメッセージも少し見せてもらいました。声にならない声を必死に振り絞って「今までありがとね」って言っていました。それを見て涙がポロポロ出ました。人は必ず死にます。限りある命をどのように使うかは、自分次第です。いい機会ですので、そんな事を考えるきっかけになってもらえたらいいな～って思います。

みんなのひとり言

この間、毎年恒例の花見をしました。今年は桜の開花時期とみんなの予定を考慮して14日の金曜日に行いました。弊社の花見は岡崎城の側でバーベキューをしています。今年も意気揚々と向かうと…14日はもうライトアップが終わっていて真っ暗でした！(笑)「どうしよう…」食材も買っちゃったし、ココまで来ちゃったし、もうやるしかない！って事で一番明るい所を探してやり始めました。しかし、どうやっても暗い!!(笑)最終的には皆の携帯ライトで肉の焼け具合をチェックしながらやりました。なかなか思い出に残る花見でした！(笑)



喜んでいただけました！のコーナー

先日社長と同行している時に、社長が急にブレーキを踏んでUターンしました。「何…??」って思っていると老夫婦の車が縁石に乗り上げて身動きが取れなくなっていました。すると社長は「大丈夫？体に怪我とかはない？」って聞きながら自分の車からジャッキをもってギョギョとその車をあげだしました。縁石に乗り上げちゃったのに、ジャッキで車体を上げてどうするの…??って思っていたら

ジャッキが上がりきったところで、そのまま後ろの方に車をおすけていました。ジャッキで上に上がった分、車は動きやすくなっていて、さらにそのまま車を押すことで、縁石から脱出させようと考えたようです。少しずつ動いていき、2～3回繰り返したら、見事に縁石から脱出できました。その時ばかりは私もその老夫婦もスゴイ!!ってなっていました(笑)そもそも私も隣に乗っていたのに、車

が乗り上げている事にも気がつかなかったし、すぐに脱出方法を考えて、手持ちの道具で、できる事を考えるなんて社長は本当にスゴイな～って改めて感じてしまいました。私も車を運転する時は周りをよく見て、困っている人を助けられる人になりたいな！

今月の格言！

空腹は世界中で

最上の調味料である

(セルバンテス)

ちょっとくだらない?(笑)名言ですいません…。これ見た時に「そうだよね～!!」って妙に共感してしまったので…(笑)